

に大神の御社を建て守護神として祀り、開山しました。これ以降、神と仏が共存する日本人の信仰観がこの地において形成されてゆきました。中世、当社の周囲には、数多くの堂塔が建てられ明治の神仏分離まで当社は五十六人の神主と僧侶等で守られてきました。

また、高野山参詣の表参道である町石道の中間にある「三谷坂」は、神社境内の入口で、まず当社に参拝した後、高野山に登ることが慣習でした。

鎌倉時代には、行勝上人により氣比神宮から大食都比売大神、嚴島神社から市杵島比売大神が勧請され、社殿が北条政子により寄進され、本殿が四殿となり、このころから國家安泰を祈る舞樂法会が江戸時代まで盛んに行われます。現存する本殿は、室町時代に復興され、朱塗りに彫刻と彩色を施した壮麗なもので、「間社春日造では日本一の規模を誇り、楼門とともに重要文化財に指定されています。」

尚、平成十六年七月「紀伊山地の霊場と参詣道」の丹生都比売神社境内が「神道と仏教の融合した文化的景観がある」として、世界遺産に登録されました。さらに、平成二十八年十月には、古代からの当社への参詣道である「三谷坂」が追加登録されました。



交通案内



■ かつらぎ西ICより約20分

■ 金剛峯寺より約35分

※道の駅(くしがきの里・かつらぎPA・紀の川万葉の里・梯の郷(どやま))より各約20分

駐車場
無料
収容台数:50台

コミュニティバス時刻表

笠田駅前発	丹生都比売神社行			
9:20	11:30	13:00	15:30	17:40
丹生都比売神社発	笠田駅前行			
7:00	9:50	12:00	13:30	16:00

※12月31日～1月3日運休

※正月3ヶ日・花盛祭等は、橋本・妙寺・高野山よりバス運行

※秋季の特定日には、世界遺産アクセス(周遊)バス運行(HP参照)

丹生都比売神社

〒649-7141 和歌山県伊都郡かつらぎ町上天野230番地
TEL.0736-26-0102

丹生都比売神社のホームページはこちら <http://www.niutsuhime.or.jp>

世界遺産
紀伊山地の
霊場と参詣道

紀伊山地の霊場と参詣道は、2005年(平成17年)7月にユネスコの世界遺産に登録された。この地域には、古くから多くの神社や寺があり、参詣者が多く訪れる。また、美しい自然環境も特徴である。

紀伊國一之宮

丹生都比売神社

にうつひめじんじや

御由緒

紀の川より紀伊山地に入り標高四五〇メートルの天野盆地に当社が創建されたのは古く、今から七百年以上前のごと伝えられます。天平時代に書かれた祝詞である「丹生大明神(丹生大明神)」によれば、丹生都比売大神は天照大御神の御妹神さまで稚日女命とも申し上げ、神代に紀の川流域(三谷)に降臨。紀州・大和を巡られ農耕を広め、この天野の地に鎮座されました。また、「播磨國風土記」によれば、応神天皇が社殿と紀伊山地北西部一帯の広大な土地を神領として寄進されたことあります。

「祭神のお名前の「丹」は朱砂の鉱石から採取される朱を意味し、古代から魔除けの力がある」とこれ「魏志倭人伝」には既に邪馬台国の時代に丹の山があったことが記載され、その鉱脈のあるところに「丹生」の地名と神社があります。全国にある丹生神社は八十八社、丹生都比売大神を祀る神社は百八社、摂末社を入れると百八十社余を数え、丹生都比売神社は、その総本社であります。

千二百年前、真言密教の根本道場の地を求めていた弘法大師の前に、丹生都比売大神の御子、高野御子大神は黒と白の犬を連れた狩人に化身して現れ、高野山へと導いたと伝わっています。弘法大師は、丹生都比売神社より「神領である高野山を借受け、山上大伽藍



御祭神と御神徳

- 第一殿 丹生都比売大神
諸々の災いを祓い退け、一切のものを守り育てる女神。健康・長寿と農業・機織の守り神。
- 第二殿 高野御子大神
弘法大師を高野山に導いた、人生の幸福への導きの神。
- 第三殿 大食都比売大神
あらゆる食物に関する守り神、食べ物を司る女神。
- 第四殿 市杵島比売大神
財運と芸能の女神、七福神の弁天さまとしても知られています。
- 境内社 佐波神社
神社の発展に尽くした高野山の僧侶をお祀りしています。
明治時代に上天野地区の諸社を合わせ、お祀りしました。

境内のご案内



楼門：重要文化財



輪橋



佐波神社



外鳥居

祭礼

- 厄除祭 一月第三日曜日
厄年を迎えた方々の新年の厄除、開運、招福を祈るお祭りです。
- 御田祭 一月第三日曜日
豊年万作を祈る農耕神事（芸能）で厄除守護札・天野宮宝印・福の種が頒布され、福引も行われます。県の無形民俗文化財に指定されています。
- 花盛祭 四月第一日曜日
御祭神に花を供え、春を祝う大祭。午後には渡御の儀が行われます。
- 神遊祭 七月十八日
修験者が御神堂を奉じ、峰々を回り廻した故事より行われるお祭りです。
- 例祭 十月十六日
年に一回の当社の最も荘厳な秋の大祭です。



御田祭

本殿：重要文化財

(右側から第一殿、第二殿、第三殿、第四殿、若宮)



花盛祭



若宮



木造狛犬



木造鍍金装神輿

社宝

当社社宝には、銀銅筵巻太刀拵(国宝平安時代)などの刀剣・木造狛犬(重要文化財・鎌倉時代)、金銅琵琶(重要文化財・鎌倉時代)、木造鍍金装神輿(重要文化財・室町時代)、法華経(重要文化財平安時代)などがあります。多くは、東京都・奈良の国立博物館に保管されています。

授与品



犬みくじ

弘法大師を高野山へ導いた高野御子大神のお使い白黒二匹の神犬をかたどったおみくじ。

幸せみちひらき守り

室町時代の当社舞楽装束の柄をデザインした人生の道をひらき幸せへと導くお守り。



琵琶守り

鎌倉時代に勧請された蔵島明神(弁天様)の持物として、北条政子より奉納された金銅琵琶(重要文化財)をかたどったお守り。

御祈願のご案内

家内安全、商売繁昌、交通安全、厄除、合格祈願、学業成就、病氣平癒、身体健康、子授祈願、安産祈願、初宮詣、七五三詣、開運招福、社運隆昌、心願成就、忌明け清祓など、御祈願を随時受け付けております。予約も可能です。七五三詣では、貸衣装と着付けのセットプランもあります。

神前結婚式

良き縁を結び、災いを祓い除け、幸福へと導く大神さまの神前で結婚式を受け付けております。また、貸衣装着付けについてもご相談も承っております。

特別参拝と由緒説明

楼門内参拝と由緒説明を「団体(二十名まで)二万円、二十名以上の場合おひとり五〇〇円以上」の志納にてお受け致します。(要予約)